整理No.	43

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	221-04	基本施策	省資源・資源循環の促進	所管部局	環境部
施　策　名	良好な物質循環の確保			主担当課	環境政策課
				関係部局課	河川課
施策の目標	雨水やバイオマス資源を利活用することにより、良好な物質循環の確保を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

・再生可能エネルギーへの注目、需要が高まっている中で、本市の地域特性を考慮すると、特にバイオマス利活用への期待が大きい。
・近年のゲリラ豪雨発生が多くなり、浸水被害も各地に広がってきていることから、引続き雨水貯留施設を市内に増やす必要がある。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
申請基数	基(年)	173	159	153				185

指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）
年間185基の雨水貯留施設を設置することを目標とし、雨水の流出抑制と有効利用を図る。	雨水の流出抑制と有効利用を図るために下水道計画区域内は下水道事業の国補事業で実施、区域外は一般会計から雨水貯留施設を設置した者に対し予算の範囲内で助成金を交付する。

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)

指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）

25年度の取組内容実績	バイオマス利活用については、長野市バイオマスタウン構想推進協議会「木質バイオマス利活用部会」等で利活用拡大について協議したほか、北信地域の自治体を対象とした保科温泉木質ペレットボイラー見学会等を開催するなど、木質バイオマスの普及拡大を図った。更に事業推進に有効な政府支援を受けるために必要なバイオマス産業都市構想の策定に関し、推進協議会員の意向等状況調査を実施することを推進協議会で決定した。 また、雨水貯留施設設置について153件の補助金を交付することで、雨水貯留を促進し河川等への流出抑制を図った。

【４．総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	概ね順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・バイオマス利活用については、再生可能エネルギー利用に係る市民意識が高まる中で、保科温泉に導入した木質ペレットボイラーについて、タウン構想推進協議会等を通じた内外へのＰＲなどにより、北信地域全体として木質ペレットの普及拡大の動きが見られた。 ・雨水貯留施設については、近年の異常気象による集中豪雨や都市化の進展による雨水流出量の増加等により、市民ニーズはきわめて高い。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・木質バイオマス利活用については、目標を上回る進捗が見られた。 ・家庭用雨水貯留施設設置における補助件数が減少している。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	・木質バイオマス熱利用数、市内木質ペレット年間生産量について、共に目標を上回るペースの成果が得られている。 ・家庭用雨水貯留施設設置における補助件数が減少傾向にあるものの、市民の関心度は高く、雨水流出抑制に貢献している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	市内に豊富に存在するバイオマス資源の利活用を推進していく必要がある。	事業推進に有効な政府支援を受けるため、バイオマス産業都市構想を策定し、本市のバイオマス産業都市への認定を目指す。
2	雨水貯留施設設置補助金申請件数の減少	広報ながの、ホームページへ掲載するなどの宣伝告知を行っているが、テレビ、ラジオなど多様なメディアを利用し、雨水貯留施設の設置を呼びかける。

施策展開の方向性（H26年度以降）	バイオマスをはじめとする再生可能エネルギーの促進は、今後も国の重要な施策となることが見込まれるため、本市においても今後の重点的な取組が更に必要となる。 雨水貯留施設設置補助金については、資源循環の観点のほか、雨水の流出抑制を図り市民が安全で安心して暮らせるまちを目指すため、継続して進めていく。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	バイオマス利活用 ［内部管理的事業・その他］ 環境政策課	バイオマスタウン構想に基き、地球温暖化防止、中山間地域の活性化、新たな産業の創出などをめざし、バイオマス資源の有効活用を図る。	長野市バイオマスタウン構想推進協議会「木質バイオマス利活用部会」等の開催などにより普及促進を図った。更に政府支援を受けるために必要なバイオマス産業都市構想の策定に関し状況調査を実施することを推進協議会で決定した。
2	雨水貯留施設設置補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 河川課	雨水貯留施設を設置することで一時的に雨水を貯留し流出抑制を図る。この雨水貯留施設設置者に対して要綱に基づき助成を行う。	平成25年度申請実績153基
3			
4			

事務事業の状況

番号	事業の分析結果：達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	年度別事業費（千円）(H26は予算額) H23	H24	H25	H26
1	A	A	A	B	B	拡充	4,471	5,268	5,922	7,507
2	B	B	B	B	B	継続	5,964	5,412	4,717	5,450
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26